

親子とロバ

Tagel Aboneh

Adonay Gebru

日本語 Annie Ue



幼児期からの
おうち算数

Early
Family
Math



Interactive Story

保護者の方へ

3つのレベル お子さんに合ったレベルを選びましょう。質問やコメントをする時には考える時間を与えましょう。お子さんが答えに詰まった時は手助けをし、正しい答えには少し膨らませた質問やコメントをしてみましょう。

レベル**1** 簡単に直接的な質問をします。見えるものについて尋ねたり指をさしたりしましょう。おもちゃはどこかな？何をしているのかな？その名前は何かな？色は何かな？いくつボールがあるかな？

レベル**2** お話のある部分について一般的な質問または自由に答えられる質問をしてみましょう。ここで何が起きていると思う？この物の仲間は何かな？

レベル**3** お話の筋について質問をしてみましょう。何が起こったのかな？次はどうなるかな？これと似たようなことが前にあったかな？この時、この子はどう感じているかな？

算数のテーマと内容 この物語には、図形や幾何学が登場します。練習内容: 距離、真ん中、長方形、三角形、薄い、2倍、ペア、 $20 \cdot 50 \cdot 100$ ずつ数える。

楽しく読んで話しましょう！ 書かれている質問やコメントはほんの一例に過ぎません。

1 回目は赤の質問とコメントを読みます。

2 回目は青の質問とコメントを読みます。

3 回目は緑の質問とコメントを読みます。

その後はお子さんの興味に合わせて、楽しい方向に話を進めてください。



親子とロバは長い旅に出ました。

道中、何人かの人に「どうしてロバに乗らないの？」と聞かれました。

1. なぜ、他の人は、「ロバに乗らないのか？」と気にしたと思いますか？二人ともロバに乗らなかった理由を考えてみましょう。

2. このお話は、お父さんと息子、そしてロバと一緒に道を進んで行くことについてです。読み進める前に、自分で彼らについての物語を作ってみましょう。

3. 彼らは疲れていました。長い旅では、親子は何歩歩かなければならないか考えてみてください。ロバは2倍の歩数を歩くので、2倍疲れれると思いますか？



歩きながらお父さんは
息子にロバに乗るように
勧めました。

この会話はしばらく続き
ました。

1. 遠くの丘や空が、近くの丘や空よりも淡い色をしていることに注目してください。遠くの景色を見るとき、このような効果を見たことがありますか？

2. この色の濃淡は、その場面の中で何が近くて何が遠いかを教えてくれる重要な手がかりとなります。この効果の原因は何だと思いますか？(それは、あなたと物との間にあるすべての空気が原因です)

3. あなたは、どこかを場所を歩くとき、自分の歩数を数えてみたことがありますか？もし、多い数まで数えられない場合は、20、50、100の塊で数えてカウントをしていくことができます。例えば、50歩が何回あったかを数えることができます。



「見て！お父さんは歩いているのに、ロバに乗っている息子は怠け者だな。」と出会った人たちが言いました。

1. どうして、お父さんが歩いているのに息子がロバに乗っていると、息子を怠け者だと思う人がいるのでしょうか？また、この親子がしていることを気にする人が、なぜいるのでしょうか？
2. たいていの人が物事の指標を持っています。それを何に使うと思いますか？
3. この場面でも、遠くのものの色は薄くなっています。色の薄さ以外に、遠くのものであることを示している手がかりはありますか？(遠くものは、より小さく、そして、やや青みがかった色をしています。)



最終的に、息子はロバからジャンプして降りて、お父さんが乗りました。彼らは旅を続けます。

1. 旅の間の親子の表情について、気づくことはありますか？表情は変化していますか？
2. 散歩やハイキングは好きですか？最近した散歩やハイキングの途中、見たり経験したりしたことで、興味深かったものについて説明してください。
3. 親子とロバのそれぞれの体でペアになっている部分を見つけてください。足や腕、耳など、さまざまなものがペアになっています。ではペアになっていないものは何でしょう？ペアになっていないものは全て体の真ん中にあります。



しばらくして、「見て！
息子は歩いているのに
お父さんはロバに乗って
るよ。お父さんは怠け者
だね。」という人たちが
いました。

1. どうして、ロバに乗っているお父さんを怠け者だと思ったのでしょうか？誰が正しいのでしょうか？息子が乗ると息子が、お父さんが乗るとお父さんが怠け者なののでしょうか？どうして他の人は親子のことを気にするのでしょうか？

2. なぜ、他人のやり方について意見を言う人がいるのでしょうか？他人のことについて意見を言うことがいい場合もあるのでしょうか？

3. このページには、新しい形があります。長方形と三角形を見つけてください。全部の長方形を数えることができますか？それとも多すぎますか？



そして、親子は一緒に
ロバに乗ることにしまし
た。

1. これまで、見ている人は必ず何
かしら批判をしてきました。今回、
人々は何について批判をするのか
を考えてみましょう。

2. このお話は、もうすぐ終わります。
どんな結末になるのでしょうか？

3. ロバが、ストレスや疲れを感じ
ていることを表しているのは、ど
んなことでしょうか？



しかし、少ししてから、
「見て！あの怠け者の親子。ロバを殺す気なのかしら。」という人たちがいました。

1. 見ている人が幸せに感じることは何もないようです。何をやってもダメだと思われるような状況に陥ったことはありますか？あなたは
その時、どのように感じましたか？

2. この不幸で批判的な人たちを、親子はどうしたらいいと思いますか？

3. 道端の三人の人たちは何をしていますか？彼らは、ただ道行く人たちを見て過ごしている
だけだと思いますか？



ようやく、親子は、人の指摘から逃れることはできない、と理解しました。

彼らは、自分が正しいと思うことをしようと決めました。

1. 他人から学べることはたくさんあります。しかし、結局のところ、自分が正しいと思うことを考え、自分を貫くしかありません。

2. みんなが幸せになるような行動をとることはできますか？

3. 他人がどう思おうと、自分が正しいと思ったことを実行した時のことを思い浮かべることができますか？

Father, son and donkey

Author -- TagelAboneh

Illustration -- Adonay Gebru

Language -- English

Level -- First paragraphs

© African Storybook Initiative 2018

Creative Commons: Attribution 4.0

Source www.africanstorybook.org